

⑪Int.Cl.
H 02 k 7 / 00
H 02 k 5 / 00

⑫日本分類
55 A 42
55 A 053

⑬日本国特許庁

⑭実用新案出願公告
昭49-46003

実用新案公報

⑮公告 昭和49年(1974)12月17日

(全2頁)

1

⑯モーター用小型ギヤー取付金具

⑰実 願 昭 42-26417

⑱出 願 昭 42 (1967) 3月29日

⑲考 案 者 粉川 譲

小平市小川町1の371の9

⑳出 願 人 吉沢精機工業株式会社

東京都文京区湯島2の17の12

㉑代 理 人 弁理士 志賀富士 外3名

図面の簡単な説明

図面は本案の実施例で、第1図は本案取付金具の使用状態を示す外観図、第2図は取付金具の正面図イと側面図ロ、第3図は第1図の側面図である。

考案の詳細な説明

本案は小型ギヤー付モーターに於て、モーターとギヤー機構とを簡単に結合するための取付金具の構造に関する。

従来、小型ギヤー付モーターに於てモーターとギヤー機構とを結合するには、ねじによる方法またはかしめによる方法が行われていたが、いずれも手数を要し、組立作業が容易でない欠点があったが、本案はこの点を解消したものである。

すなわち本案は、金属板を以つて全体がコの字形を有し、かつコの字形の先端は若干内側に屈折して係止縁を形成した枠体を形成すると共にこの枠体の背面中央部にはモーターに軸受を左右から挟着できる爪片を設けて結合枠を形成してなるものである。

次に本案の実施例を図面について説明すれば、1は金属板をコの字形に屈折した枠体からなる結合枠で、2がその屈折部、3が屈折部2の先端を内側に若干屈折した係止縁、4は結合枠1の背面

2

中央部に穿切した切欠部で、この切欠部4内には左右に軸受挟着用爪片5、5を設けてある。6は小型モーター、7はギヤー機構で、内部にはギヤー8を有し、このギヤー8にモーター側のギヤー11を連設して小型モーター6にギヤー機構7を重ね合わせて結合する。

9はモーター側の軸受、10は結合枠1の背面中央部に設けた突部で、この部分に切欠部4は設けられている。

10 そして重ね合わせた小型モーター6とギヤー機構7の側面より結合枠1を嵌め、係止縁3はギヤー機構7側の適所に係止させ、爪片5は若干モーター側に加圧屈曲して軸受9を両側より挟持することにより、小型モーター6とギヤー機構7とを結合する。

しかして本案では従来のねじ式、かしめ式などの方法によらず、結合枠1を嵌着して小型モーター1とギヤー機構7とを結合するから、両者の結合が極めて簡単で、組立作業上の能率を向上し得るし、爪片5、5が軸受9の部分挟持している関係上外れる虞れがない等の効果を奏し、構造は簡単であるが実用的価値は大きい。

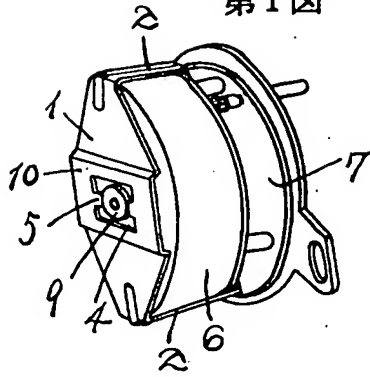
㉒実用新案登録請求の範囲

金属板を以つて全体がコの字形を有し、かつコの字形の先端は若干内側に屈折して係止縁を形成した枠体を形成すると共にこの枠体の背面中央部にはモーターに軸受を左右から挟着できる爪片を設けて結合枠を形成したことを特徴とするモーター用小型ギヤー取付金具。

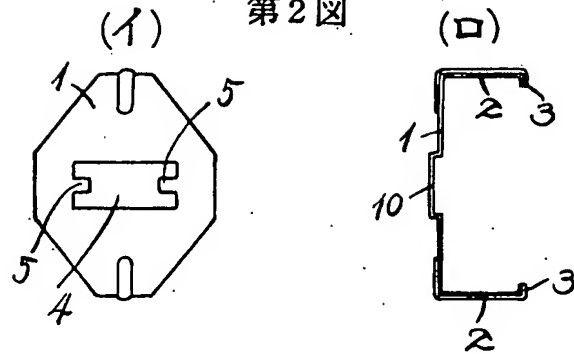
㉓引用文献

「精密機器の要素 I」 前田禎三 外2名 昭和32年10月20日 東京図書(株)発行

第1図



第2図



第3図

